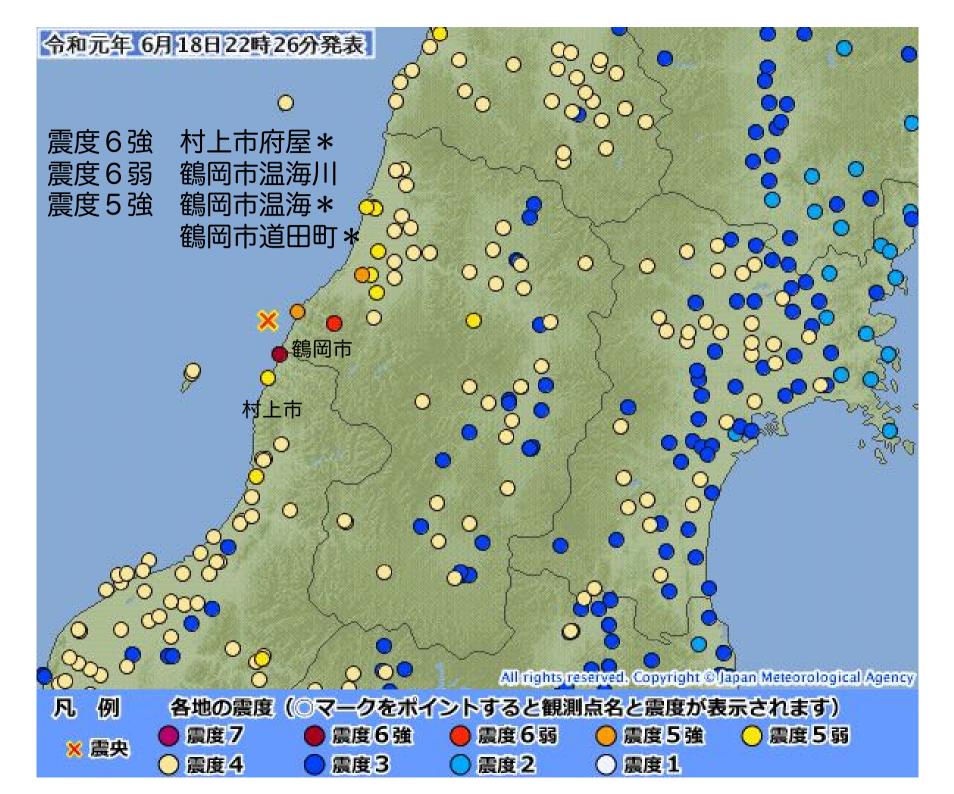
令和元年(2019年)山形県沖の地震に関する緊急報告会 2019年6月24日

地震動特性について

東北大学災害科学国際研究所地域地震災害研究分野

大野 晋

震度



気象庁

各地震度と強震観測点周辺状況

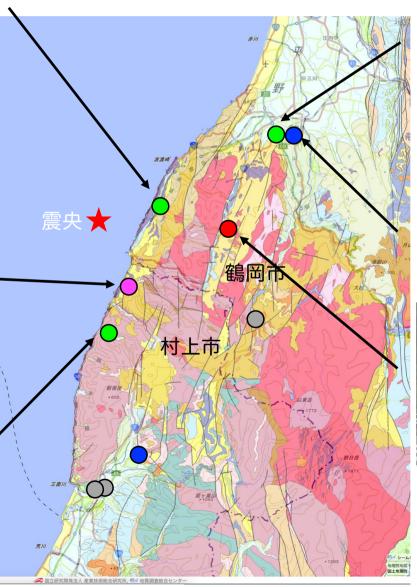
震度5強 鶴岡市温海





震度6強 村上市府屋 (山北支所)

震度5弱 村上市寒川







震度5弱 鶴岡市馬場町 (鶴岡市役所)

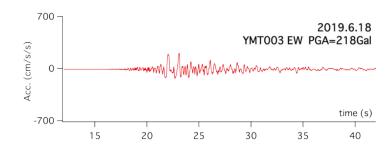


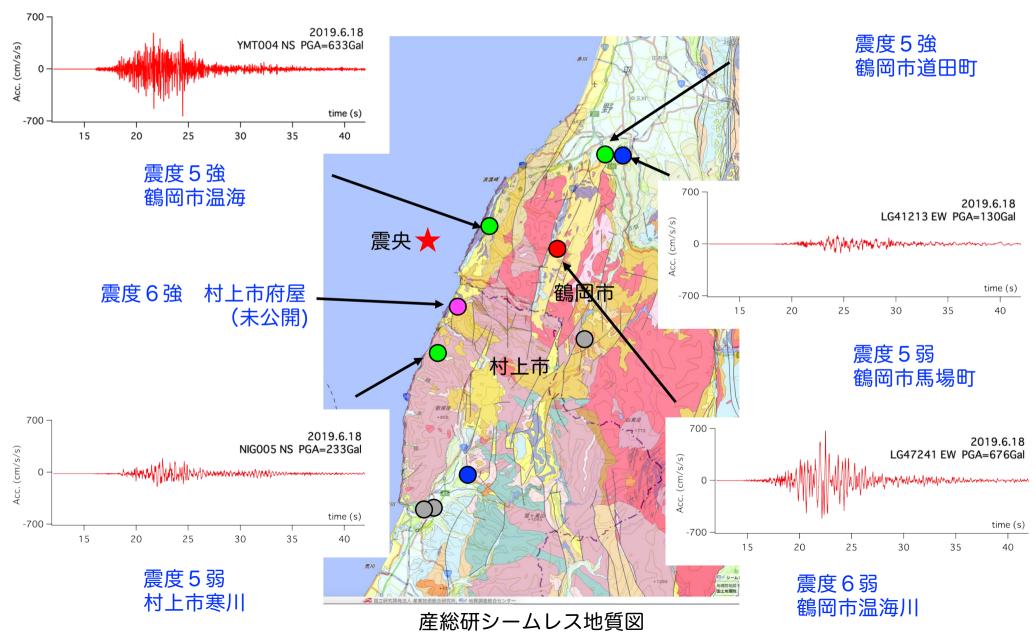
震度6弱 鶴岡市温海川

産総研シームレス地質図

強震記録の加速度波形

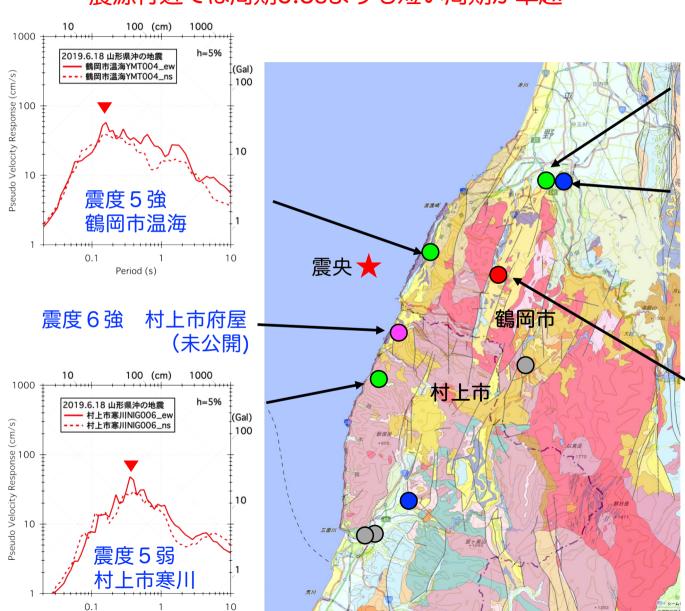
大きな加速度は震源付近に限定される





強震記録の応答スペクトル (周期別の揺れの大きさ)

震源付近では周期0.5sよりも短い周期が卓越

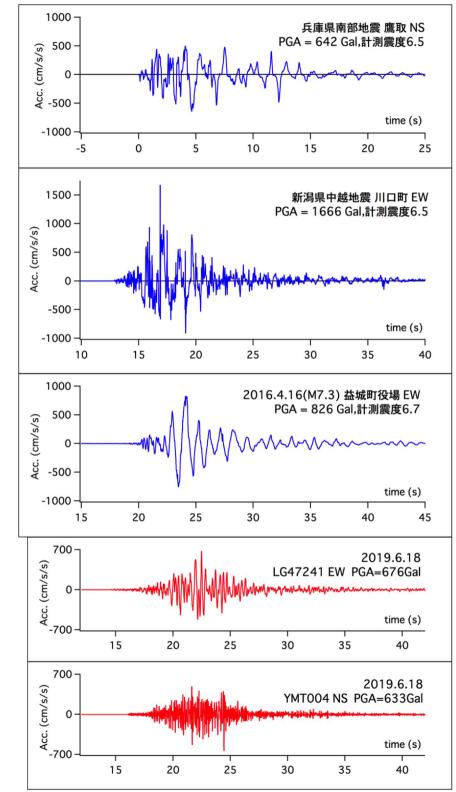


Period (s)

100 (cm) 2019.6.18 山形県沖の地震 鶴岡市道田町YMT003_ew (Gal) 鶴岡市道田町YMT003_ns 100 震度5強 0.1 Period (s) 10 100 (cm) 1000 2019.6.18 山形県沖の地震 鶴岡市馬場町LG41213_EW (Gal) (cm/s) · 鶴岡市馬場町LG41213_NS 100 Pseudo Velocity Response 0 10 0.1 10 1000 2019.6.18 山形県沖の地震 鶴岡市温海川LG47241_EW (cm/s) 鶴岡市温海川LG47241_NS (Gal) 100 Response (Pseudo Velocity 10 震度6弱 Period (s)

産総研シームレス地質図

0.5 0.6 0.8 0.9 1.0 1.2 1.4 1.6 2.0 2.5 3.0



過去の地震の被災地域の記録との比較 (加速度波形)

兵庫県南部地震・鷹取(震度7)

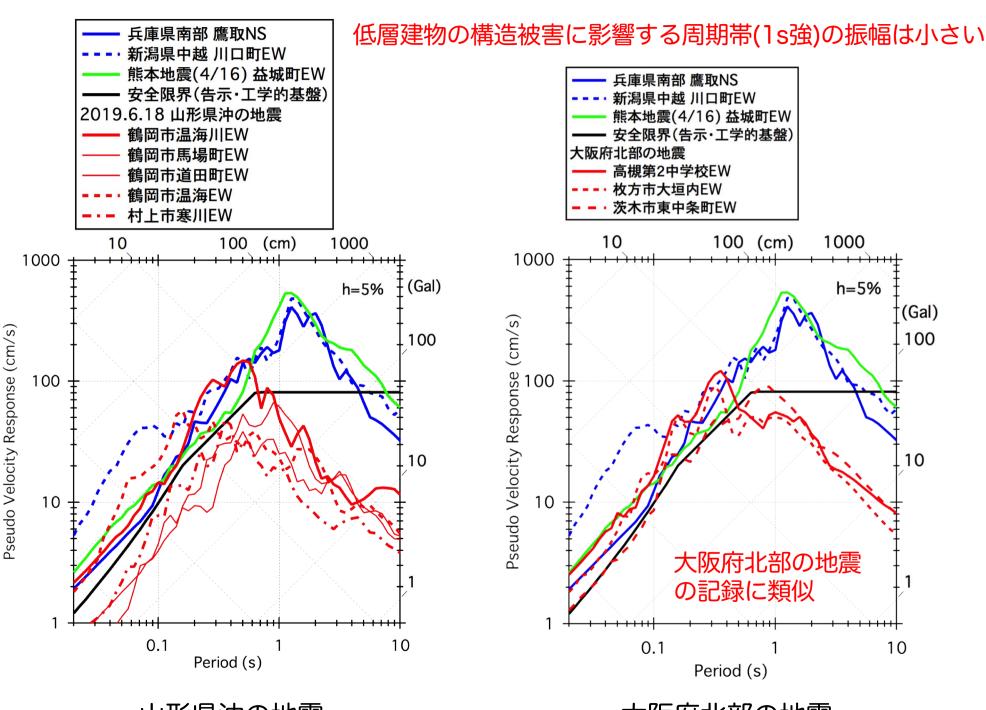
新潟県中越地震・川口町 (震度7)

熊本地震・益城町 (震度7)

山形沖の地震・鶴岡市温海川 (震度6弱)

山形沖の地震・鶴岡市温海(震度5強)

過去の地震の被災地域の記録との比較(周期特性)



山形県沖の地震

大阪府北部の地震

地震動特性のまとめ

- ・ 震度6弱・6強や大加速度は震源付近に限られる。
- ・震源付近は山地で、平野と比べて地盤増幅率は小さい(揺れにくい)。
- ・ 過去の地震の被災地域の記録と比べて,
 - 低層建物の構造的被害を引き起こす周期帯域(1秒付近) の振幅は小さい
 - 外装材や屋根瓦などの被害に関係する短周期振幅(0.5s 程度以下)は同等のところもある。
 - 以上の周期特性は大阪府北部の地震の震源近傍の記録 と類似

(注:震度6強の記録は未公開)

- 気象庁 令和元年6月18日22時22分頃の山形県沖の地震の関連情報 https://www.jma.go.jp/jma/menu/20190618 yamagata jishin menu.html
- 産総研シームレス地質図 https://gbank.gsj.jp/seamless/v2/viewer/
- 防災科研 強震観測網 http://www.kyoshin.bosai.go.jp
- 防災科研 地震ハザードステーション http://www.j-shis.bosai.go.jp